

外務省日本ブランド発信事業 報告書（アゼルバイジャン、オマーン）
「日本の照明デザイン」

2017年10月

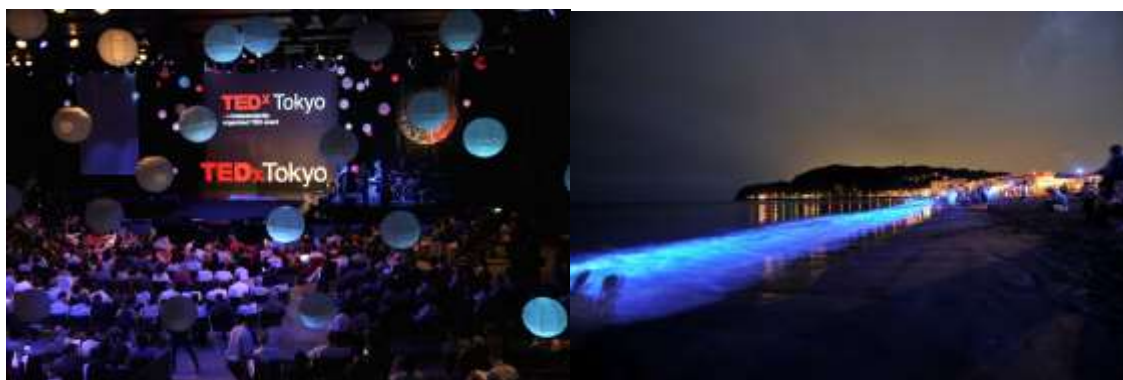
「日本ブランド発信事業」専門家
Tokyo Lighting Design 合同会社 代表
矢野大輔

■事業概要

今回の事業では、アゼルバイジャン、オマーンにて2017年10月20日から10月25日にかけて現地の大学や文化施設、日本大使館などで講演会とワークショップを行いました。弊社は陰影を素材として扱う照明デザイン事務所として、国内外の建築空間やエンターテインメント空間、自然環境を舞台にその場に即した光の演出を展開しています。



講演では、光が持つ普遍的な特徴や、日本独特の光の感性・精神性に触れて日本人らしさを説明しつつ、弊社が得意とする超自然的な光の演出や、日本における照明演出事例を紹介し、光を中心とした様々なジャンル（建築・イベント・展示等）の日本の文化を広められるよう映像や画像を中心にお話をさせていただきました。



今回の事業では、下記の都市を訪れ、講演をさせていただきました。

■スケジュール

【アゼルバイジャン】

10/20

12:00～画家アカデミー講演・ワークショップ

19:00～YARAT 文化センター講演・ワークショップ

10/21

11:00～建築大学講演・ワークショップ

13:00～建築大学構内視察

18:00～新市街・旧市街視察

10/22

9:00～拝火教寺院・遺跡（ヤナル・ダク（燃える丘））、ホワイト・シティー（バクー市内で建設ラッシュが進んでいる箇所）視察

12:00～ハイダルアリエフセンター視察

15:40～アゼルバイジャンよりオマーンへ移動

【オマーン】

10/23

9:00～Huckle & Partners 面談

10:00～Supreme Committee for Celebration 面談

11:30～Scientific College of Design 講演・ワークショップ

17:00～Muscat Daily インタビュー

10/24

9:00～オペラハウス視察

10:30～マスカット市役所面談

14:30～Al Hatmy Engineering 面談

16:30～日本大使公邸

10/25

9:00～グランドモスク視察

14:05 オマーンより日本へ出発



【アゼルバイジャン】

■ 10月20日（金） 12:00～

画家アカデミー（講演 45分+ワークショップ+展示）聴講者約 130名

対象者はアートを学習する 10代後半の学生中心だったので、照明デザイン・アートに主眼を置いた内容で光について話をさせていただきました。

アゼルバイジャン人は、面白くない講演だと平気で席を立つと言われていましたが、講演中も集中していて日本の光文化に対して興味を持ってきているようでした。

調べるとこの国は火を神として崇める拝火教の発祥の地であることがわかり、自然と調和した日本らしい光について深く理解する素地がすでに備わっている国なのだと知りました。講演後は思いがけずほぼ全員と個別で写真撮影をする時間が始まり、緊張と旅の疲れが一気にほぐれた初回の講演でした。



■ 10月20日（金） 19:00～

Yarat 文化センター（講演（45分+質疑応答 15分）+ワークショップ）聴講者約 200名

対象者は幅広く一般人だったので、照明のアートに主眼を置いた内容で光について話をさせていただきました。

完全な暗室となる場所の中央にテーブルを設置し、そこに日本から持参した和紙と和ろうそくを組み立てた簡易的な行灯を配置。講演の途中に揺らぐ炎をじっと観察し火の魅力と精神性を感じ取っていただくワークショップを実施しました。

年代は様々でしたが途中で席を立つ人もなく、日本の光の文化に興味を持って聞いていただいたようです。

そしてここでも若い人中心に写真撮影タイムが始まり、同じく小一時間は撮影タイムとなっていました。



■ 10月21日（土） 13:00～

建築大学（講演45分+ワークショップ+展示）聴講者約170名

建築デザインを学習する大学生や教授陣を対象としていたので、主に建築照明デザインに関する内容をメインにして講演をさせていただきました。

ここでは上記二か所の内容をすべて盛り込んだ講演とワークショップを実施。たくさんの生徒や教授陣より質問をいただくことができました。アゼルバイジャンが持つ光の歴史感や特徴についてお話をいただいたり、お互いの国の光文化に対する共通点を話し合ったりなど、深く講演の内容を理解していただけたことも実感でき、さらに日本に対する評価も高まったように感じました。



【オマーン】

■ 10月23日 11:30

Scientific College of Design (講演40分+ワークショップ+展示) 聴講者65名
学校にいる人全員が女性だったので詳しく聞いてみると、この国でデザインを仕事とするのは主に女性で、男性の仕事ではないということでした。

講演終了後は、デザイン学校だけあって光のデザインをするときの基本や、NightWaveについて詳細を聞かれることが多く、皆さんが積極的に聴講をしていたことが分かる、講演者にとっても充実した講演になりました。

その後は学校内の服飾デザインやプロダクトデザイン、アニメーションデザインなどの各種授業の様子などを見学し、オマーンの感受性などをまんべんなく見られる良い機会となりました。



■ 10月24日 16:30

日本大使公邸（講演 40分+ワークショップ+展示+レセプション）聴講者 19名

役所の方やこれまで取材や面談でお会いした方も聞きに来ていただきました。今までとは全く聴講者構成が違い、デザイン関係者以外の様々なバックグラウンドを持った方に聞いていただくことになりましたが、面談等では限られた時間でかいつまんで話さなければならなかった内容を、講演内でじっくりと聞いていただくことができたので、最後の締めくくりとしてとても充実したものになりました。

講演後はケータリングを囲んで談笑。その後はお世話になった日本大使館の皆様と写真撮影をし、全講演を終えることができました。



【参考リンク】

外務省「日本ブランド発信事業」ウェブサイト

http://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/pds/page22_001100.html

TOKYO LIGHTING DESIGN

<http://tokyolighting.com/>